

コトシモナゴヤノミナサンニアイタイデス。

ond°
hum your life.

Giovanni
Alleni
Piano Solo Concert
Japan Tour

ジョヴァンニ・
アレヴィ

ピアノソロ・コンサート
名古屋公演 2019

～ナゴヤとイタリアの架け橋～

2019年7月4日(木)

18:00 開場 / 19:00 開演

会場：5/R Hall & Gallery 音楽ホール
〒464-0850 愛知県名古屋市千種区今池1丁目3-4
052-734-3461

料金：S席 8,500円 / A席 6,500円 (全席自由・税込)
※未就学児童の方のご入場は不可とさせていただきます。

チケット取り扱い・問い合わせ先

■ond° (オンド)

愛知県春日井市鷹来町 4929 TEL: 0568-89-0301
(平日・土曜 11:00 ~ 22:00、日曜 11:00 ~ 19:00)
<http://ond-o.com/> MAIL: mail@ond-o.com

■5/R Hall & Gallery 音楽ホール

<http://www.five-r.jp/hall/>
愛知県名古屋市千種区今池1-3-4
TEL: 052-734-3461(11:00 ~ 18:00)

主催：ond°/Aコネクト株式会社

協力：5/R Hall & Gallery 音楽ホール

協賛：名古屋日伊学院 / 金山レディースクリニック / 有限会社エーシーワーク
守屋塾 / だんばら内科クリニック / 株式会社游まち紡ぎデザイン

ジョヴァンニ・アレヴィ ピアノソロ・コンサート

名古屋公演 2019 ～ナゴヤとイタリアの架け橋～

Giovanni Allevi piano solo JAPAN TOUR 2019

「革命児」

というキャッチコピーからはとても想像できないほどの、親しみやすいポップないでたち、軽やかな立ち振る舞い、日本人のような繊細な気遣い。

今年で 50 歳を迎えるとはとても思えないような、いつも若々しく愛らしい「おにいさん」のようなピアニスト、ジョヴァンニ・アレヴィに今年も会えます。

アート性とポップ性の絶妙なバランスが最大の魅力。

初めて聴いても耳にスッと入ってくる心地よさと、毛細血管のように細部にまで神経のいきわたった音遣いの緊張感が生み出す「音」という生き物が、私たちの心を空に解き放ちます。



Giovanni Allevi プロフィール

1969年4月9日、イタリア生まれのピアニスト／作曲家。

名門ミラノ音楽院を卒業後、97年にピアノ・ソロ・アルバム『13 dita』でデビュー。クラシック、ジャズ、ポップスの垣根を超えたダイナミックな演奏が持ち味。2005年、ウィーンにて芸術表現の国際的価値が認められて“ベーゼンドルファー・アーティスト勲章”を、そして母国イタリアではピアノタッチが評されて“レカティーナ・フォーエバー・フォー・ザ・ミュージック賞”を受賞した。2006年のアルバム『JOY』は母国のヒット・チャートでトップ10を記録、ミラノで行なわれたコンサートには5万人もの観衆を集めた。2010年、初来日。

2017年、2枚組アルバム『EQUILIBRIUM』を発売。彼の作品の特徴でもある不安定なバランス（Equilibrium）の中で、しきたりや慣習にとらわれず、それを打ち破る反発的な「ロックな」心と、厳格にオーケストラを指揮する、アカデミックで伝統に忠実な心、音楽に対する2つの心が出会った、彼自身の原点を掘り下げた作品となっている。

2014年～2018年の名古屋公演は5度ともSold Outとなり、スタンディング・オベーションのうちに終了。今年もさらなる感動が期待される。

「NAGOYA 100 project」の想いと、これから名古屋飛ばしをさせたくない、名古屋の熱さを伝えたいという想いからはじまった「NAGOYA 100 project」。心からいいと思えるアーティストに、特別感を持って名古屋に来てもらいたい。

まず100人の方々に満足していただき、そこから広げたい。

そして興行としても立派に成立させたい。

そんな想いが通じ、本当に多くの人たちの助けを得ながらこれまで5度の成功を収めることができました。

時には包み込むように、時には何かを壊すように、様々な表情を見せてくれる彼の演奏を楽しみに来られる皆さまの、表情や後ろ姿一つ一つが、ジョヴァンニ・アレヴィが名古屋の人たちにとってなくてはならない存在になったということを確認させてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。

5度にわたる熱演とそれにこたえるオーディエンスのスタンディング・オベーションの中で育まれた音と言葉を越えたコミュニケーションは、ジョヴァンニの心にしっかりと根付いて、「ナゴヤ」はすでに飛ばすものではなくなりました。

これからも、少しでも永くジョヴァンニ・アレヴィの生み出す最高の音楽と温度感に触れられる機会を作っていけるように努めます。彼の紡ぐピアノが、あなたの新たな感情を呼び覚ます光となりますように。



「120席のホールがもたらす『距離感』」

イタリアに住んだことがある方が口々に話すのは、

「Giovanni Allevi をこんな至近距離で見られるなんて、幸せです！」

確かにファンに対するこれまでの彼の振る舞いを頭に浮かべて思うことは、彼の大切にしている「距離感」が最大限に実現できるホールなのではないかということ。

彼の演奏を、もっと多くの方に届けたいという思いから、大きなホールでの開催を、という考えも浮かぶ。

しかし、やはり病みつきになる「距離感」なのだ。名古屋の熱さ、いや、「濃さ」を感じ、彼にも届けたいという思い。

やはり今年もこの『演奏者と客席とのコミュニケーション』を最も重視する空間、5/R Hall & Galleryでお楽しみください。